

子どもの表現力を育む学校づくり 鳥取市立神戸小学校



神戸小学校は、自分の言葉で思いを語り、互いにつながりながら学びを広げる子どもの育成をめざしています。学習で身につけた言語能力を生かし、さまざまな集団の中で自己表現することを通して心を通わせるとともに、地域への愛着と誇りをもつことができるように取り組んでいます。

国語科を中心とする取組

考えを深める

国語科では、話し合い・語り合いの学習活動を大切にしています。自分の考えをもち、その考えをもとに話し合いが活性化されることで、児童の学ぶ意欲が高まります。

◆語彙力の育成

- ・チャレンジタイムに言葉のノートを作成する。
(「写真に言葉をのせよう」など、楽しく言葉とかわる取組)
- ・「暗唱詩文集」を作成し、全学級で暗唱に取り組む。

◆自分の考えをもち、発言をつなげる工夫

- ・初発の感想を全員が共有し、課題設定や話し合いの場で活用する。
- ・全文視写と教材文への書き込みをし、それをもとに考えをつないで、学びを深める。

思いをつなげる

地域行事は表現力を生かす場に！

地域とつながる

例えば、地域行事の「桃まつり」では人との出会いの場や体験の場を意図的に設定します。縦割り班で異年齢の友だちと話し合うことや、人とのふれあい、かわり合いをもつことを通して、身につけてきた表現力を生かす場としています。



野菜の販売

- ・どんなことをしたら地域の方に喜んでもらえるかな。
- ・砂見太鼓を見てほしいな。
- ・地域の方々と育てた野菜を販売したらどうかな。



砂見太鼓の発表

他教科等の学習における取組

国語科で得た学びを広げる単元づくりに取り組んでいます。学習したことが、実際の生活場面で生かされることで、学習することの意義を感じ活発な学習が展開されます。

学びを広げる

◆単元づくりの工夫

例) 国語科「つな引きのお祭り」で学んだことを総合的な学習の時間「神戸の伝統行事を学ぶ」につなげる。

◆国語科の学びを生かし、自分の考えをもつ工夫

- ・何をどのように調べるか、どのようにまとめるかなど、国語科の学びを生かして考えを広げる。

- ・神戸には岩坪の獅子舞があるよ。
- ・つなひきのお祭りには願いが込められていたよ。獅子舞にはどんな願いが込められているのかな。
- ・誰にどのようなインタビューをしたらよいか。



一人一人の思いを大切にし、伝え合う学習の中で、子どもたちは表現する楽しさや仲間とつながる喜びを感じます。身につけた力を教室外でのばしていくことを通して、自分に自信をもち、生き生きと表現する子どもたちが育っていきます。